

西三河地域の 製造品出荷額 約25兆1000億円

愛知県西三河地域は豊田市、安城市、岡崎市など県中央に位置する10市町からなり、同地域の製造品出荷額等は約25兆1000億円。都道府県別順位で2位の神奈川県より約8兆8000億円上回る結果となった。また、同地域で自動車や自動車部品などの輸送機械器具の同出荷額等は約20兆2000億円、80%以上を占めた。トヨタ自動車のほか、自動車部品の1次メーカーが多数本社を置き、自動車関連産業の一大集積地となっている姿が浮き彫りとなった。半面、100年に一度の変革期を迎えた自動車産業は、CASE（コネクテッド、自動運転、シェアリング、電動化）と呼ばれる四つの技術革新の波が同時に押し寄せている。こうした状況に地域の各社は、独自技術を駆使してイノベーションを起こそうと、さまざまな取り組みを進めている。

西三河地区産業界

イノベーションを支える

フタバ産業は農業分野に本格参入する。農用ハウスで暖房機の排ガスから二酸化炭素(CO2)を回収し、再利用して作物の光合成を促す装置を開発。2017年11月から専門商社などを通じて一般販売を始めた。主力事業の自動車用排気管で培った気体の吸着技術や熱回収ノウハウを応用。今後、農業関連製品を「アグリーフ」のブランドで展開し、新たな事業の柱とした。豊田鉄工は5月、愛知県豊田市で植物工場「アグリカルチャー&Dセンター」を稼働させた。主力の自動車プレス部品で培った品質管理やTPSなどのノウハウを生かし、農業に参入する。まずは8種の葉物野菜を混ぜたベリーリーフを栽培。主に東海地方の食品スーパーなどで店頭に並ぶという。



フタバ産業のCO2貯留・供給装置

拓を急いでいる。自動車部品の新技術提案など既存事業の強化に加え、農業分野への進出を目指して本格的な取り組みを推進している。豊幸は2月に創業当初の生業だった研削盤のオーバールームを始めとするアフタービジネス事業を強化。導入稼働、成熟、再生というサイクルに合わせたカスタマーサポートで、顧客の信頼関係に基づく多様なビジネスの展開に取り組む。

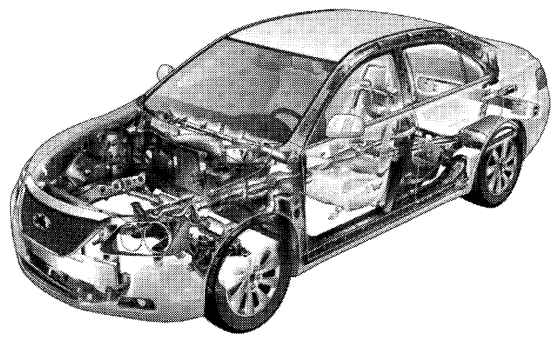
世界的な規模で普及が予想される電気自動車(EV)は部品点数が減少する。顧客のニーズに对应と予想されることか、各社は新事業の開



植物工場内の栽培室

目線は未来に、フィールドは世界へ。

変わる、進む、未来を創る



Face to the Future
The World is the Stage for TOYOTETSU Products.

豊田鉄工株式会社

〒471-8507 豊田市細谷町4-50
TEL.0565-26-1212 (代)

URL <http://www.tiw.co.jp>

自動車部品事業 / 情報環境機器事業 / 外販設備、金型事業

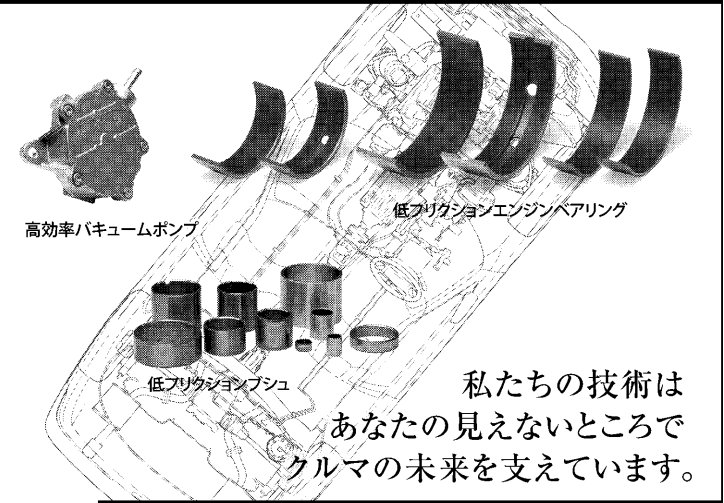
フタバ産業株式会社

愛知県岡崎市橋目町字御茶屋1番地 TEL 0564-31-2211

URL <http://www.futabasangyo.com/>

TAIHO

トライボロジーから広がる環境対応製品



私たちの技術は
あなたの見えないところで
クルマの未来を支えています。

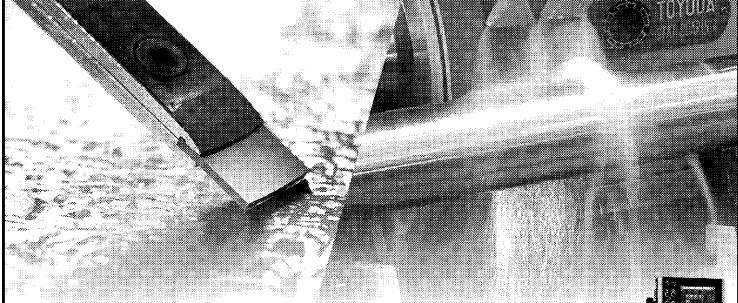
大豊工業株式会社

〒471-8502 愛知県豊田市緑ヶ丘3-65 TEL 0565-28-2225(代) FAX 0565-28-2227

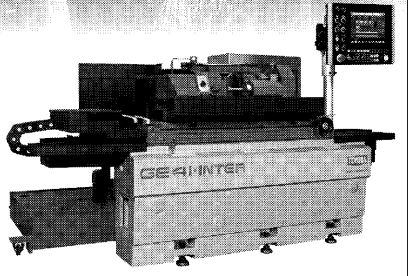
URL <http://www.taihone.com/>

HOUKO

匠の技に未来の夢をのせて



TOYODAの高精度と使いやすさを
実現した内面研削盤



CNC内面研削盤
GE4PI-INTER

株式会社 豊幸

JTEKT

Koyo TOYODA

〒444-0113 愛知県額田郡幸田町菱池江尻1番地の3
TEL 0564(62)1211 www.houko.co.jp/